
ポナンテ File- 0 ~導きの風~

Y . 桑奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポナンテ File - 0（導きの風）

【Nコード】

N2226C

【作者名】

Y . 桑奈

【あらすじ】

無から有を作り出す素粒子「ポナンテ」その発見は、この世界に終焉へのカウントダウンをもたらした。ポナンテに選ばれし者達の背負いし運命、そしてポナンテの真の意味とは…

プロローグ

21世紀最大の発見は？と聞かれたら満場一致でポナント素粒子だと一般教養を持つ常識人は答えるだろう。

ポナント素粒子とは何か？それは無から有を造りだす事の出来る神秘の粒子だった。

発見から10年たった現代では、ポナントは無くてはならない必需品になっていた。

効果の例を上げると、壊れた物を簡単に修復できる（ただし物質のみ）、慣れれば作り出すことも出来るようになる。例えば、書類を纏めたいがそれらしい物がない。

ポナント素粒子を発生させる物を身に付ける（ブレスレットやその他のポナント加工品）。クリップを頭で想像する、そして次の瞬間には手の中にクリップが出現しているという感じだ。一言付け加えておこう、これは一般人での事だ。その中でもポナント素粒子に合う体質の人が稀に見つかるのだ。

通常の場合、人にはポナントの限界値がある。規定の量を超えると死に至ることさえあるのだ。それを超越した存在、限界値が存在しない人、それをSuper Elementary、SE体と呼ぶ。

話は戻る、先ほどのようにポナントが平和的に使われているならいいが、そうは行かないだろう。まず人類が考えた事、それは軍事転用だった。

採用によって各国の軍事力は格段に上昇した。そしてその中でもSE体が重要視された。SE体を教育する機関を国が作り、人材を育て軍のSE体特殊部隊に配属する直結構想理論が始められ、有能な人材を各国それぞれが集めた。それと順応するようにSE体のプロテスタント団体も発生し始めた。いわば国の政策などに反対するテロ集団である。

科学者達は口を揃えていった。ポナントの多様化は第三次大戦を産

むだろつと。

世界は動きだした、終焉へと。

場所は日本、時は遡り10年前の2024年8月、夏。温暖化の進行により猛暑が続いていた。だからといって何かが変わるものもなく普遍的な夏が過ぎようとしていた。暑そうな人々、セミの声、照りつける太陽。全ては誰の常識の範囲を異してはいなかった。

全ての始まりの日、8月23日までは。

その日は夏の終わりを感じさせないような、激しい真夏日だった。場所は北陸地方の饗楽村という人口2000人にみたない、小さな村で起きた。

23日午前3時アメリカ、ワシントンD.C、軍情報部。

軍服を着た男が上司に見える男に話かける。「今、マザーコンピューター2号に衛星からの情報が入りました」

「それはどういった？」「日本上空に極小の隕石のような物体が確認されたようです」

「まあ無視しとけば、大気圏で消滅するものだろう。私に報告する意味があったのか？」

「ですが、一つだけ問題があつて、気にかかったもので」

「問題とは？」上司が問う。

「その物質が隕石とは確認されていない事です。今までのマザーから隕石情報は全て隕石であると確定されていました。しかし、今回はただ上空に物質が確認されたとしか…」

「うむ…気にかかるな。大丈夫だと思いが一応、君が観察を続けてくれ。何か動きがあつたら、すぐに知らせてくれ」

そう言うとは事もなかつたかのように、二人はデスクに戻っていった。

このような事はここでは、そう珍しくない。
今回も公の場に公表しないで様子見という正しい判断が下されたま
では良かった。

午前7時。

軍情報部が慌ただしく動き出した。
特殊機関での隕石と思われていた例の物質の解明の結果が出た為だ。
その結果とは、「隕石と思われていた物質は素粒子の集合体と思わ
れ極めて異質。新型ウィルスの混入の確率大、大気圏での消滅は無
いと思われる。軍情報部へ！直ちに日本に連絡を取り、5時間以内
に本島北陸部、柳生市からの全市民を非難させよと伝えよ！」

午前11時日本。

アメリカからの情報から4時間、タイムリミットが刻一刻と近付く
た。情報の食い違いなどにより日本側は対応に混乱をきたしていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2226c/>

ポナンテ File-0 ~ 導きの風 ~

2011年1月11日15時55分発行